

# コンパス薬局横浜西 スキルアップ勉強会

2020.6.23 佐々木

『コレクチム軟膏 0.5%』

鳥居薬品 杵渕 様

参加者 小野田先生

山城、相原、番場、佐々木、古市

アトピー性皮膚炎は増悪と軽快を繰り返すそう痒のある湿疹を主病変とする疾患である。アトピー性皮膚炎の治療目標は、症状が認められない、あるいは症状があっても軽微でありかつ、日常生活に支障がない寛解状態への導入及びその長期維持である。よって、アトピー性皮膚炎の寛解導入及び寛解維持療法での長期連用が可能で、また、アトピー性皮膚炎の病態形成や進展の要因（皮膚バリア機能の低下、炎症及び痒み）を抑制する薬剤が求められている。

## 【特徴】

コレクチム軟膏は JAK/STAT 経路を活性化するすべてのサイトカインシグナル伝達を阻害し、各種サイトカイン刺激により誘発される T 細胞, B 細胞, マスト細胞及び単球の活性化を抑制してアトピー性皮膚炎の炎症を抑制する新規作用の外用剤である。また、コレクチム軟膏はサイトカインにより誘発されるフィラグリン等の皮膚バリア機能関連分子の発現低下及び搔破行動（そう痒）を抑制する。

## 【効能・効果】

アトピー性皮膚炎

## 【用法・用量】

通常、成人には、1日2回、適量を患部に塗布する。なお、1回あたりの塗布量は5gまでとする。

## 【用法及び用量に関連する注意】

- 1 治療開始4週間以内に皮疹の改善が認められない場合は、使用を中止すること。
- 2 症状が改善した場合には継続投与の必要性について検討し、漫然と長期にわたって使用しないこと。

## 【考察】

コレクチム軟膏は、アトピー性皮膚炎に対する新規有効成分の外用剤としては約20年

ぶりに発売されたものである。新しい作用機序のものであるため、これまでのステロイドやタクロリムス軟膏での外用剤でも効果が得られていなかった人への使用も期待できる。また、副作用の報告で使用時の刺激感が少ないとされていることから、タクロリムス軟膏で多く報告されている刺激感や灼熱感などで使用継続が困難だった人へも使用ができると考えられ、アトピー性皮膚炎の治療法の選択肢が増えることが期待できる。

1回5g、1日10gまでの制限があるため、適切な塗布方法や塗布量についての指導が必要である。チューブの口径が、軟膏を第一関節まで出すとちょうど1FTU=約0.5gになるように設計されているため、目安として患者様へ伝えていく。

#### 【質問事項】

Q 1. 顔に塗っても大丈夫ですか？

A 1. 臨床試験において、顔・頸部に塗布へも使用しており、問題ないとなっております。

Q 2. 塗布部位が紫外線にあたっても問題ないですか？

A 2. 光線過敏の報告は現在でておりません。

Q 3. コレクチム軟膏の名前の由来は何ですか？

A 3. Correlate Immune (免疫を調整する) から由来しています。

Q 4. 小児への使用について

A 4. 現在、小児を対象とした臨床試験成績がないため、16歳以上のアトピー性皮膚炎患者が対象となっております。